

(3) 川のように

三春町を空から見ると、まるで魚のうろこのような模様に見える。それは、小さな丘の集りである。この様子を町の人々は、「地ぶくれ」と呼んでい



おおたぎね しりゅうびわし へびいし ごうりゅう
大滝根川の支流樋渡川と蛇石川の合流地点

る。冬綿入れの着物を着ている人を見て着ぶくれというように、丘の稜線がやんわりと丸味をおびた形をしているからである。



大滝根川 (齊藤地内)

それらの丘陵のすそから小川が流れ出している。それがいく筋もあって、大滝根川の水系、桜川の水系、移川の水系、石堂川の水系とまとまりをつくって流れ出している。

それらは、木の枝のように支流が発達しているのが特色である。その支流の谷は、浅くゆるやかである。発達段階から見ると、やや深く、斜面が急な本流の谷より支流の方が、より進んでいるという奇妙な様子が見られる。これは、三春の大地の移り変わりや深いかわりがあるものと思われる。